

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(国保) 歯科診療所研究研修事業	会計名称	国民健康保険特別会計 (診療施設勘定)		担当課	市民課	
		予算科目	1 款 2 項 1 目	事業番号	7415	所属長名	渡辺悦子
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福岡富美子	
法令根拠等	伊予市国民健康保険直営診療所条例				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	地域医療の充実を図り、安心空いて医療サービスを受けることのできる環境を整備する。						
事業の対象	中山歯科診療所の歯科医療業務従事者		事業の目的	歯科医療業務従事者の口腔医療知識、技術等の研鑽を目的とする。			
事業の内容 (整備内容)	研修会参加のために必要な旅費及び負担金を支給する。		昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	156	109	0	0	0	69	旅費	千円	134	97	57	57
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0	負担金	千円	22	12	12	12
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	156	109	0	0	0	69						
職員の人工 (にんく) 数	0.10	0.10				0.10	研修参加回数	回	2	1	1	1
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費+人件費	958	907				867						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				研修参加 (協議会役員)	回	3	4		4
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					180	180	180	180	180	900		
成果指標	指標	医療知識・技術向上のための研修会等への参加回数			単位	回	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度
	指標設定の考え方	医療知識・技術向上のため予算の範囲内で効率よく研修に参加する。(日本老年歯科医学会学術大会)			⇒	目標	5	5	5	5		
	指標で表せない効果	愛媛県国保診療施設連絡協議会役員 (施設管理者) として、日本摂食嚥下リハビリ大会、全国国保地域医療学会、国保診療施設地域包括医療・ケア研修会、地域医療現地研修会に参加している。(旅費・負担金は協議会もち)				実績	5	5				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		これまで公費の支出とならない協議会役員としての研修については出張扱いとなっていなかったが、課内で協議した結果、公務としての出張とみなすこととした。(旅費・負担金は協議会もち)								
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	医療従事者としての医療知識・技術向上が図られた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与が適切である。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担は適正と認められる。	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B		事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 地域医療を存続させるための情報収集等の研究研修事業で、口腔ケアや予防事業の推進に必要な事業である。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与が適切である。	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担は適正と認められる。	3							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		